

6月6日(月)

神様が私たちに望まれること

聖書朗読 I列王記 8:10~30

主に身を避けることは、君主たちに信頼するよりもよい。 詩編 118:8

莫大なお金を使って礼拝所を建てることについて、私たちは一日中話し合うことができるかもしれません。ダビデの願いは主のために礼拝所を建てることでした。神様がそれはダビデの喜びではないと決められてもでした。自分たちに栄光をもたらすような素晴らしい考えを、私たちは幾たび持ったことがあるのでしょうか。もしくは、私たちの願望は神様の栄光のためではあっても、その仕事は誰か他の人に与えられてしまったことはありませんか。時々、私たちは良い事でさえ、することをあきらめるように神様から呼ばれることがあります。もしその良い行動が私たち自身に栄光をもたらすようであれば、神様は私たちを正しい方向に向け直すでしょう。神様はダビデを愛されたのと同じように私たちを愛されています。

神様の礼拝堂を建てるのが、ダビデの心からの熱望でした。しかしながら、神様はダビデがそれをするを望まれません。神様は、私たちが自分自身について知っているよりもっと、私たち一人ひとりのことをご存知なのです。神様に栄光をもたらす仕事を私たちにさせて、それによって私たちが神様に近づけ、私たちを祝福なさりたいのです。

神様に信頼することは私たちの使命です。あなた自身の理解力に頼ってはいけません。神様が人生の著者であり、また人生の終わりを決められる方です。神様が私のために選択した計画を完遂するために、神様に信頼し、その方向づけにしたがって生きることを、神様は望まれています。

讃美歌 84

祈り お父様。私の人生の仕事について、私を愛してくださることに感謝します。

今日、私があなたの導きを見ることができるよう助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

シェリー・リアムス
テキサス州 ラボック

今日の力

2016年6月6日～6月12日

翻訳 ゲラ弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

6月7日(火)

どの機会にも

聖書朗読 I列王記 19:11~13

まことにあなたがたに告げます。世界中のどこでも、この福音が宣べ伝えられる所なら、この人のした事も語られて、この人の記念となるでしょう。

マタイ 26:13

神様は見た目にはあまりたいしたことがない行為よりも、偉大で高尚な行為の方を好まれるのでしょうか。神様は私たちと同じ方法で、物事のすばらしさを測られるのでしょうか。

神様ご自身は、大きさや偉大さだけでなく、小さなものや小さいなことにも価値があると、私たちに言われています。未亡人の小銭や一匹の迷える子羊、失った一枚のコイン、一杯の冷たい水、裸の人に与えた衣服、お礼を言うために戻ってきた病人、マタイ 26 章の中では、女がイエス様の頭に高価な香油を注いでいます。イエス様は、その女の行いはこののちずっと伝えられるであろうとおっしゃいました。大きなことでなくても、真心からの行動だったからです。神様は、私たちが聖書を読むときにはこの話を読み、その重要性を覚えるようにとおっしゃっています。

神様は私たちの心が欲しいのです。神様は私たちに行動して欲しいのです。私たちが必要とされている場所に、必要とされている時に、私たちを配置してください。そこで私たちが神様の目的を達成できるように、必要なものを与えてくださいます。スタンフィルが作った歌の歌詞にこんながあります。

もし一杯の水を私があなたの手に与えるなら、私が要求するのは一杯の水だけ。
偉大なことをしようと、待っていてはいけません。どの機会にも行動しましょう。

讃美歌 第二編 26

祈り 親愛なる神様。私たちの心を和らげ、目を開けて機会を見つけられるようにしてください。毎日私たちの前にいらしてください。私たちを通して他人があなたを愛しますように。

イエス様の御名において。アーメン。

リンディ・ベル

テキサス州 プラーノ

6月8日(水)

神様と和らぐ

聖書朗読 ヨブ 22:21~30

さあ、あなたは神と和らぎ、平和を得よ。

ヨブ 22:21

神様と和らぎなさい！・・・どのようにすれば神様と和らぐことができるのでしょうか？ ある人が「神様、あなたに私のすべてを捧げます」と言ってから、自分の好きな道に行くとしたら？ ある人が「神様、あなたを愛します」と言ってから、その言葉だけで行動しないとしたら？

神様を受け入れて従う人は、神様を心から、たましいをもって、自分の力のすべてをもって愛します。神様と和らごうとする人は、自分を愛するように隣人を愛します。神様と自分との間には何も入ることができません。神様と和らぐということは、全身全霊をもってなされ、どんな小さな自己であっても神様に捧げることです。

自分を神様に捧げれば、力が与えられ、自由になることができます！ 神様に日々の悩みや心配事をすべて捧げてしまえば、気持ちがすっきりします。神様の平和をいただければ、あなたの心に平和が来ます。そうすれば、神様の豊かな祝福を見ることができるようになり、現在と永遠の両方に注意を向けることができるようになるのです。すべては神様に属します。ですから、神様と和らぐということは何と素晴らしいことでしょうか？

讃美歌 第二編 83

祈り イエス様。私を愛してくださり、あなたに従うために呼んでくださってありがとうございます。私があなたをはっきりとみて、私自身を完全にあなたに捧げることができますよう助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ジャン・グン

テキサス州 ポートアーサー

6月9日(木)

宇宙的な視野

聖書朗読 ヨブ 37:14~24

家よりも、家を建てる者が大きな栄誉を持つと同様に、イエスはモーセよりも大きな栄光を受けるのにふさわしいとされました。家はそれぞれ、だれかが建てるのですが、すべてのものを造られた方は、神です。ヘブル3：3～4

どの家も誰かによって建てられます。それ自身で建つ家はありません。どの家の建築にも、その構図や発案に工夫がなされています。しかし、神様はすべてのものの建造者です。究極的に、神様が建造されるものは、永遠でそれ自身で建つことができます。

はるかな永遠を超えて、地上の岩に書かれた主のメッセージは神様の存在を告げています。これについて適当な説明をしようと多くの人が試みていますが、物質的なことから説明できません。はるかな宇宙をさぐろうとする人間の探索や展望を超えています。しかし、これが終わりではありません。

ヘンリー・ディビッド・ソルーが「心の足跡」と呼んでいるものがあります。これは、雪の上に残された足跡に似ていて、いろいろな事を教えてくれるのです。宇宙の「心の足跡」は、大きく広がっていて透明です。好奇心に満ちた子どものように、私たちも「だれがこれをやったの?」と知りたがりますが、神様がなさった事についても、私たちはこの心の足跡を見つけては、それを観たり触れたりして、その素晴らしさを味わっているのです。

暗がりの背後には
神様が影の中に立っている
上空からご自身をご覧になっておられる
——ジェームズ・ラッセル・ローウェル

讚美歌 370

祈り　神様。私の目が開かれ、あなたの素晴らしい存在によって、私のたましいが輝かされますように。

イエス様の御名において。アーメン。

アル・コーネル
ウィスコンシン州 ヒルスボロ

6月10日(金)

神 様 の 栄 光

聖書朗読 詩編 19編

すると、モーセは言った。「どうか、あなたの栄光を私に見せてください。」

出エジプト 33:18

ドイツの哲学者カントが言っています。「二つのことが私の心をいつも驚かせる。考えれば考えるほど、その不思議さにとりこになる。それは、私の頭上に広がる星空と私自身の内にある道徳律だ」。

大きな市に住んでいると、都市の光で夜は月や星を見ることが難しくなります。数年前のことですが、私はテキサス州の過疎地で時を過ごしたことがあります。夜空が都心で見るのとは違い、何ときれいだったことでしょう！ 今までは想像するだけだった世界を、望遠鏡が見せてくれました。本当に、天は神様の栄光を宣言しています。

しかし、神様の創造の目的を宣言するためには、神様のみことばを理解しなければなりません。神様はみことばを通してご自分をあらわされます。神様の栄光は圧倒的です！ 考えてみてください。神様は私たちのお父様なのです！ 天は神様の栄光を宣言し、聖書が私たちに、神様が何をなされたかを伝え、それによって私たちはその栄光を分け合うことができます。ダビデは神様のみことばを称賛しました。みことばについて思索を深めれば、神様の栄光を分けていただくことができます。

讚美歌 74

祈り 親愛なる神様。あなたの美しい創造と御言葉に感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

デイル・フォスター
テキサス州 サイプレス

6月11日(土)

両 足

聖書朗読 詩編 24:1~10

遣わされなくては、どうして宣べ伝えることができるでしょう。次のように書かれていますとおりです。「良いことの知らせを伝える人々の足は、なんとりっぱでしょう。」
ローマ 10:15

私の健康指導員が、新しい健康体操を教えてくださいました。テニスボールで足をマッサージするのですが、とてもいい気持ちです。足の裏には全身の神経の終わりの部分が集まっているので、足を刺激するといいいいます。

私の好きなサンダルは、快く足の裏を刺激してくれる繊維でできています。それを履いて歩くと、腫れた足が軽くなるような気がします。私たちはつい、足の健康を当たり前と考えがちです。

聖書の時代、人々はサンダルで埃まみれの道を歩いていました。誰かの家を訪問すれば、宅の主人が使用人に言いつけて、客の足を洗わせるのが慣習でした。もしくは、客たちが自分で洗えるように、足を洗う水を提供しました。イエス様がシモンの家を訪ねたときは、余り歓迎されませんでした。抱擁もなく、足を洗うための水も与えられませんでした。後に、イエス様はたらいに水を注ぎ、弟子たちの足を洗ってから手ぬぐいで乾かし、その手ぬぐいを腰にぶら下げていました。

イエス様にならって、他人に仕えることができるように、神様と共に歩くことを覚えていきましょう。足を日々鍛えて、主と一緒に歩きましょう！

讃美歌 212

祈 り 親愛なるお父様。私が足を持ち、歩き、走り、跳ねることができることに感謝します。日々、あなたと共に歩めますように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

カーサ・ウインザー

カリフォルニア州 サンディエゴ

6月12日(日)

なんと力に満ちた神！

聖書朗読 詩編 33:4~8

正しい者たち。主にあって、喜び歌え。賛美は心の直ぐな人たちにふさわしい。

詩編 33:1

私の友人たちは、私のことをきちんとしていると言います。息子は私の整理整頓好きは病気だと言います。夫は何とも言いませんが。私がやらなくてはならない事のリストを作る本当の理由は、忙しい日常に秩序を作って安心するためです。一番いいリストは、書いてあるのではなく、口で言う「すべき事リスト」です。毎晩私は犬を散歩に連れて行きます。暗い夜道を歩きながら、神様が私にしてくださった事のすべてをリスト上に読み上げて、大声でありがとうございますと言います。ほとんどの晩、私と犬は長い散歩をすることになります。

私は詩編33章1節の『主にあって、喜び歌え。賛美は心の直ぐな人たちにふさわしい。』を読むと、その作者に特別な親しみを感じます。続く4節から8節では、神様がなさってくださったことがリストになっています。神様は全てにおいて信頼のおける方です。この世界は、神様の変ることのない愛に満ちています。神様に対して、詩編の作者の好奇心と思慮深さが、この詩編にあふれています。

さあ、私たちの助け、盾、そして喜びである主を賛美しましょう。

讃美歌 17

祈 り お父様。あなたの祝福をどこでも見るできるように助けてください。あなたが私を心にとめて、愛してくださるように、私もあなたの愛を心にとめていられますように。

イエス様の御名において。アーメン。

シャロン・フォースター

テネシー州 マックウエン